

※ 下氷鉤小学校運営の方針・・・全教育活動を通して、児童一人ひとりの個性・能力を伸ばすとともに、敬愛の心を培い、人間性豊かな児童の育成に努める

素晴らしかった運動会!

先月 9 月 19 日 (土) の運動会、ご声援ありがとうございました。バックネットにかかげられた運動会のスローガン『あきらめず 勝利をめざして がんばろう。』のように、子どもたちは好天の中で一生懸命頑張りました。演技や競技をする子どもたち、それを支える係の子どもたちの息が合って充実した運動会になったように思います。祖父母の会で 64 名、多数のお年寄りの方々が来校され、地域の方々が寄せる熱い思いが感じられました。本校ならではの学年伝統の種目も子どもたちは生き生きと活躍していたように思います。玉入れ、競技、霧の川中島、組体操、そして、綱引き・騎馬戦・棒倒し・・・。祖父母の方から「うちの孫は 1 年生だけど、今から 5 年生でやる霧の川中島が楽しみで・・・」とお話なさっていたことが印象的でした。全力で勝負を競う姿、楽しく演技する姿、学年で息をそろえて整然と全体の美しさを考えながら表現する姿などに、子どもたち一人一人の達成感が得られていたように思います。

ご声援や応援をいただきありがとうございました。

愛組勇組が焼き物に挑戦!

今年も、愛組勇組が、共和窯の野池さんに指導していただき、焼き物に挑戦しました。今年は、好きな動物を夢中になってつくりました。みんなすごく集中して取り組み個性的な味わいのある作品ができました。焼き上がってみないと、どんな色になるかわからない楽しみがある「焼き物」に子どもたちは張り切りました。

昨年、本焼きの参観に親子で行って学んだ成果が発揮されたように思います。「誰でも、みんな火が好きなんだ」と野池さん。今年も本格的に共和窯で焼いてもらっています。どんな作品が出来上がってくるのか楽しみです。

(11月の参観日に販売されますので、よろしく願いいたします。)

防火戸を通った避難訓練をしました。

9月2日(水)、避難訓練をしました。「防火戸を通る」「煙の中を通る」訓練をやってみた方がよいという以前の消防署からのアドバイスに従い、今回は、全クラスではありませんが、防火戸を通っての避難を行いました。躓かずに安全に避難できました。実際には、ほとんど煙で見えない中での避難になり危険度も増しますので、慎重が必要となります。消防署の方からは、「静かに落ち着いてできました」と言われました。緊張感のある訓練が、いざというときに役立ちます。続けていきたいところです。ご家庭でも、学校長が話した「心の備え」「物の備え」を再確認していただけたらありがたいです。



交通安全教育支援センターの方々による交通安全教室

9月29日（火）に、交通安全教育支援センターの方々による交通安全教室を行いました。

《交通事故にあわない約束「止まる」「見る」「まつ」、そして自転車は「ゆっくり走る」》を詳しく教えていただきました。約束を守らず交通事故にあった原因の半数以上が『とびだし』だそうです。また、ルールを守っているの事故の一番は『信号、横断歩道での横断中』です。学校近くの信号や横断歩道でも、同じ事故が起きています。小学生の自転車による交通事故の多さも驚きます。

①「かもしれない」運転をする②車の特性を知る③「思いやり」運転をする。合い言葉のように歩行中、自転車乗車中に、心に留めるようご家庭でも話題にしていただけたらありがたいです。



各学年による様々な学年行事

10月1日（木）は、天候にも恵まれ、様々な学年行事が無事行われました。運動会と音楽会の合間の、貴重な学年独自の行事です。4年：市立博物館見学、5年：稲刈り。そして、2年生は生活科遠足（乗り物遠足）に行ってきました。乗り物の経験をして科学センターと動物園をたっぷり楽しんで帰ってきました。気持ちのよく元気がよいあいさつができて、バスを待つ方や運転手さんにとっても誉められて帰ってきました。



10月9日（金）は、3年生の社会見学でした。卸売市場（青果、魚、リサイクル等）、権堂のアーケード通りや善光寺、そして長野市を一望できる地附山公園で昼食をとり、午後は中央消防署・防災センターの見学をしました。「-10℃の冷蔵庫に入る」「ビル火災の現場から逃げる」「関東大震災のゆれの中に入る」など身をもって実感した体験が心に残る充実した学習になったように思います。ここでもすれ違う観光客の方に元気よく「こんにちは！」と挨拶する姿も見られ頼もしく感じました。



更北子どもフェスティバルに参加

10月18日（日）は第9回更北子どもフェスティバルがありました。下氷鉋小からは児童会三役の開会挨拶、道組の展示やステージ発表、道組敏組の長縄跳びチャレンジ大会へ参加しました。一般参加見学者も多数来ていました。また、ステージ発表では、下氷鉋小のダンスクラブ「稲里 Blue チェリーズ」も参加し、日頃の成果を存分に発揮していました。地域をあげて、子どもたちたちのがんばりの発表の場、親子で楽しむ場を作り上げてくださることはとても有り難いです。「地域の良さ、信頼」の場としたいと運営委員長さんも話されていました。

参加されたみなさん、ありがとうございました。

附山から見る長野市の様子に「エー、長野市って、こんなに大きいの？」の声。私たちの住む長野市の大きさや地形の特色などを実感することもでき、実際に目で見ると社会見学の素晴らしさを感じました。

